

没後90年 橋本平八展

2025年8月2日（土）～10月13日（月・祝）開催



① 橋本平八《花園に遊ぶ天女》1930年 東京藝術大学大学美術館蔵

三重県立美術館では、三重県伊勢市出身の彫刻家、橋本平八（はしもと へいはち）の没後90年を記念する展覧会を開催します。15年ぶりの回顧展となる本展では、代表作と資料から生涯をたどり、橋本平八の創作世界に迫ります。

伊勢が育んだ木彫界のスター、15年ぶりの回顧展！

橋本平八（1897～1935）は、現在の伊勢市出身の彫刻家です。伊勢で彫刻の手ほどきを受けた後、上京して佐藤朝山（さとう ちょうざん）に木彫を学びました。25歳にして《猫》が日本美術院展に初入選を果たすと、その高い技術と才能によりたちまち注目を集めます。29歳で帰郷した後も、《石に就（つい）て》などの意欲作を次々に発表しました。その活躍は「木を持たしては橋本君」と評されるほどでしたが、惜しくも1935（昭和10）年に亡くなり、38年の生涯を閉じました。

生涯のほとんどを故郷の伊勢で過ごした橋本平八は、周囲の豊かな自然に刺激を受け、古代彫刻や古今東西の哲学に学びながら独自の思想を深めました。自然や生命の神秘について洞察を重ねた作品の数々は、今もなお多くの人を惹きつけています。

15年ぶりの回顧展となる本展では、代表作と資料から生涯をたどり、橋本平八の創作世界に迫ります。



②橋本平八肖像写真

橋本平八について

1897（明治30）年、三重県度会（わたらい）郡四郷村大字朝熊（あさま）（現・伊勢市朝熊町）に生まれる。地元の木彫家・三宅正直、亀田奎介から彫刻の技術を学んだのち、22歳で上京。翌年、日本美術院同人の彫刻家・佐藤朝山に入門し、再興日本美術院展に出品を続けた。

1926（大正15）年10月、郷里に戻り、以降は朝熊を拠点に制作活動を行う。自然からインスピレーションを受け、古今東西の哲学や彫刻を学び、思索と制作を深めていくが、1935（昭和10）年11月、病により38歳という若さで急逝した。

前衛詩人・デザイナーとしても知られる実弟の北園克衛（きたぞの かつえ）（本名・橋本健吉）との協働により編集した彫刻論『純粹彫刻論』が没後に刊行され、橋本平八の思想を知る貴重な手がかりとなっている。

近年では、現代美術の分野からも熱い注目を集めるなど、時代を超えてその作品は評価されつづけている。

自然の石をモデルにした木の彫刻！？



③橋本平八《石に就て》1928年 個人蔵

展覧会の見どころ

✓近代木彫のスター 橋本平八の彫刻がせいぞろい

その高い技術と才能でいまなお多くの人を惹きつけている橋本平八。38歳の若さで亡くなったため、その作品は多くありません。このたびの展覧会は、代表作を含む彫刻約70点と絵画、資料が一堂に会するまたとない機会となります。



④ 橋本平八《猫》1922年
三重県立美術館蔵



⑤ 橋本平八《霊獣》制作年不詳 個人蔵

✓下絵や資料からその創作に迫る

橋本平八は生命や自然の神秘に関心を持ち、身の回りの風景から着想を得て彫刻を制作しました。本展では下絵や構想画、制作途中の彫刻を展示し、知られざる創造の過程に迫ります。

✓ふるさと伊勢との関わり

伊勢に生まれた橋本は、約6年間の東京生活を除いては伊勢を拠点に活動しました。本展では、橋本の彫刻制作を支えた伊勢の支援者たちとの関わりについても紹介します。

⑥ 橋本平八《或日の少女》
1934年 東京藝術大学大学美術館蔵



関連プログラム

橋本平八をより深く知るために。

研究者、彫刻家を講師に招き、聞く・語る・作るプログラムを実施します。

※手話通訳・要約筆記、その他支援をご希望の方は、2週間前までにご相談ください。

※ワークショップは事前のお申込みが必要です。美術館ウェブサイトの申込フォームよりお申込みください。希望者多数の場合は抽選となります。

①記念講演会「橋本平八について考える」

15年前の橋本平八展を担当し、これまで長く研究を重ねてきた講師による講演会です。

もうり いちろう
講師 毛利伊知郎氏（四日市市立博物館長、前三重県立美術館長）
日時 8月24日（日）午後2時から（90分程度）
会場 美術館講堂
定員 140名（当日先着順）／聴講無料 ※30分前より講堂にて開場・受付します。

②クロストーク「橋本平八を語る」

木を素材として独自の境地を開いている気鋭の彫刻家、七搦綾乃氏を招き、橋本平八の魅力に迫ります。

ななからげあやの
講師 七搦綾乃氏（彫刻家、金沢美術工芸大学講師） × いしざきたかし 石崎尚氏（愛知県美術館学芸員）
日時 9月6日（土）午後1時から（60分程度）
会場 企画展示室
※展示室に入るため、橋本平八展観覧券が必要です。参加をご希望の方は展示室入口にお集まりください、

③ワークショップ「彫刻のためのデッサン会～木に描いてみよう！～」

彫刻家のように、いろいろな角度からものの形を観察し、木材に描いてみます。

はせがわ かんじ
講師 長谷川寛示氏（彫刻家）
日時 8月16日（土）①午前の部 午前10時から12時 ②午後の部 午後2時から4時
会場 美術体験室
対象 小学生、中学生
定員 各回15名（応募者多数の場合は抽選）
参加費 無料 要事前申込
申込締切 8月7日（木）締切



イメージ図

展覧会概要

会期 2025年8月2日（土）から10月13日（月・祝）まで

会場 三重県立美術館 企画展示室

開館時間 午前9時30分から午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 毎週月曜日（8月11日、9月15日、10月13日は開館）、8月12日（火）、9月16日（火）

主催 三重県立美術館

後援 伊勢市、伊勢市教育委員会

助成 芸術文化振興基金、公益財団法人岡田文化財団、公益財団法人三重県立美術館協力会

観覧料 一般1,000（800）円 学生800（600）円 高校生以下無料

（ ）内は前売りおよび20名以上の団体割引料金

- ・この料金で、2階常設展示室「美術館のコレクション」、柳原義達記念館「柳原義達の芸術」もご覧いただけます。
- ・生徒、学生の方は生徒手帳、学生証等をご提示ください。
- ・障害者手帳等（アプリ含む）をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。
- ・教育活動の一環として県内学校（幼・小・中・高・特支）および相当施設が来館する場合、引率者も観覧無料（要申請）。
- ・毎月第3日曜の「家庭の日」（8月17日、9月21日）は団体割引料金でご覧いただけます。
- ・主な前売券販売所 チケットぴあ、ファミリーマート、セブン-イレブン他

広報用画像について

本プレスリリース掲載の①から⑥の画像を広報用に提供します。

ご希望の方は下記注意事項をお読みの上、ご連絡ください。

ご希望の画像データをお送りします。

- ・画像のご使用は、本展の広報目的の場合に限ります。本展覧会終了後は使用できません。
- ・画像への文字のせ、画像トリミングはご遠慮ください。
- ・掲載にあたっては、作家名、作品名、制作年を画像と一緒に記載してください（②をのぞく）。
- ・ウェブサイトに掲載する場合は、コピーガード（右クリック不可）をかけてください。
コピーガード対応ができない場合には、72dpi 以下もしくは 400×400pixel の解像度でご掲載ください。
- ・画像データの広報目的以外の使用はできません。

お問い合わせ

三重県立美術館 学芸普及課 高曾（企画）、原（広報）

TEL 059-227-2100（代表） FAX 059-223-0570

E-mail bijutsu2@pref.mie.lg.jp

〒514-0007 三重県津市大谷町11

<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>